

情報連絡員の報告からみた都内中小企業の景況(下)

～業界の景況DI・売上高DI・収益状況DIの期間平均数値はすべて悪化～
(平成19年2月～7月期)

- 東京都中央会 -

(前号よりつづく)

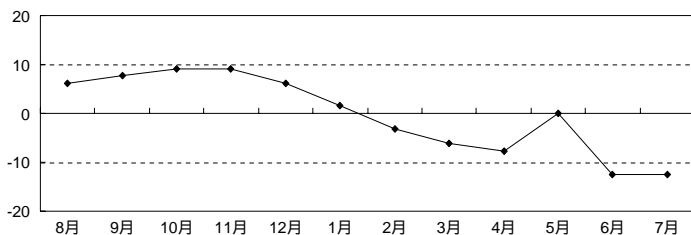
設備操業度(製造業のみ)

製造業

今期のDIの値は2月から4月まで連続して悪化したが、5月に好転した。しかし6月には悪化し、再びマイナスに転じた。

今期平均では「上昇」11.9%、「低下」18.9%、DIは-7.0。

設備操業度 1年の動き(前年同月比DI)



資金繰り

製造業

今期のDIの値は2月に好転した後、悪化と好転を繰り返す動きとなった。

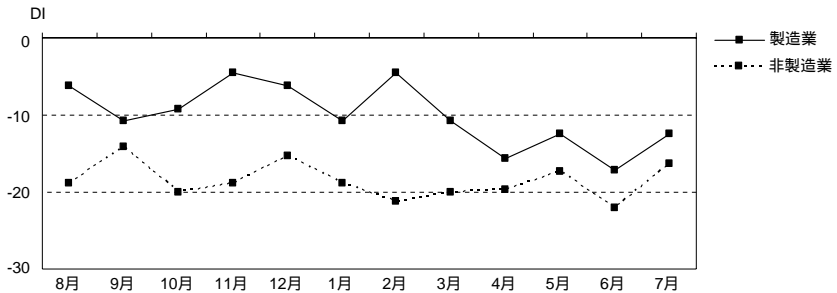
今期平均では「好転」6.5%、「悪化」18.7%、DIは-12.2。

非製造業

今期のDIの値は2月以降、わずかながら好転を続けたが、6月に悪化した。

今期平均では「好転」3.3%、「悪化」22.8%、DIは-19.5。

資金繰り 1年の動き (前年同月比DI)



雇用人員

製造業

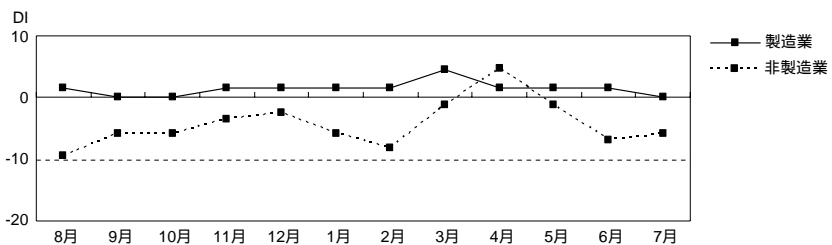
今期のDIの値は大きな変化はなく、値はすべてプラスのまま推移した
今期平均では「増加」9.1%、「減少」7.3%、DIは 1.8。

非製造業

今期のDIの値は3月、4月と連続して好転し、プラスに転じたが、5月に悪化し、再びマイナスに転じた。

今期平均では「増加」7.8%、「減少」10.9%、DIは -3.1。

雇用人員 1年の動き (前年同月比DI)



各月の特記事項及び動き

2月 「記録的な暖冬の影響で冬物商戦は完敗。早めに春物に切り替えた企業は正解といえる。今年こそは平年並みの気候を期待する。」(帽子製造業)

「今年は暖冬で鍋物も食卓に出番がなく、豆腐等の売れ行き不振である。大手量産豆腐の市場シェア競争が激しく、安売りが続いている。」(豆腐小売業)

- 3月 「暖冬の影響で重衣料（コート）を中心としたニット製品の売上が減少した。セーター等、売上が増加した品物もあるが、全体としては厳しい年度末となった。」
（織物卸売業）
「原油価格の乱高下、石油製品の需給の乱れ等から末端市場では価格競争が激化し、そのことが極端な収益低下・大手資本との格差を招き、本年度も90を超えるガソリンスタンドが廃業し、都内のスタンドはピーク時の6割が姿を消した。」
（石油小売業）
- 4月 「4月後半になり非鉄金属が再び高騰し、利益なき繁忙状態が続いている。」
（鋳物製造業）
「売上等、昨年同様に堅調に推移しているが、ここにきて銅製品をはじめとする素材の値上りがみられ、採算圧迫の要因にもなっており、先行きに若干の不安がある。」（配電盤機器製造業）
- 5月 「原材料価格（銅・ステンレス）の上昇が止まらず、一方で価格転嫁が進まないことから収益圧迫気味。企業間でのバラツキがあるが景気上昇を反映してか、人手不足感も」（配電盤機器製造業）
「連休明けから本格的に現場が稼働しはじめたが、それに伴い労務不足が深刻化しつつある。若年者の業界離れ・他業種への流出があり、このままでは8月のピーク時に納期遅れが発生する可能性が大きい。」（ガス圧接業）
「3月から原油価格が大幅に値上りしていることを受け、石油化学大手は包装材や汎用樹脂を値上げする方針を決めた。浸透すれば昨年11月以来半年ぶりの値上げとなり、相当のダメージが心配される。」（包装材料小売業）
「最近、運転手の人材不足が問題となっている。物流業界の景気回復の影響か。」
（廃棄物収集運搬業）
「これから盛夏にかけて、鉄筋工の不足状態が厳しくなる。建設現場では工期不足が深刻化している。」（鉄筋加工組立業）
「先行きの見通しが良い反面、不況時の影響として設備と人材の整理により機材と人材が供給限度となり、不足になりだしている。」（基礎工事業）
- 6月 「好転の兆しがみえるが、単価が上らずに苦戦している。その結果、労務が確保できず、非常に不安定な状態にある。夏場にかけて稼働率上昇の傾向にあるが、不安定な要素はめぐいきれない。」（ガス圧接業）
「荷動きに低調化の傾向が見られる。燃料費アップや運転手の確保が難しいことなどの経営上の問題が深刻化している。組合員の倒産や脱退が多くなっている。」
（貨物自動車運送業）
- 7月 「原油値上りによるプラスチック原材料の価格上昇が収益を圧迫。大手企業の海外生産が増えて、少量の国内生産品は厳しい条件をつけられて、価格転嫁は認められない現状。」（プラスチック製造業）

「ステンレス・アルミ等の原材料の大幅値上げによる収益率の低下が続いている。また、長引く梅雨の影響で夏場品（網戸）が不調。」（建築用金属製品製造業）
「石油関連価格の値上り、特に4大合成樹脂の値上りが著しい。その他の樹脂についても値上りの波が押し寄せて来ており、対応に苦慮している。」（包装材料小売業）
「7月は日照不足の影響で、きゅうり・なす・ネギ・キャベツ・ほうれん草・小松菜が異常に高騰した。」（野菜・果実小売業）

要 望 事 項

- 2月 「中小企業組合制度の改正により、事業年度終了後2ヵ月以内の通常総会の招集は困難に思われます。これに対応する定款の変更等はどうか。」
[帽子製造業]
「改正された中協法だが、決算事務については法律どおりにはできず、対処の方法が見つからない。各支部の決算書をまとめたうえで、総合会計を行うので監査期間を確保することは無理難題。」[古書籍小売業]
「駐車違反取締りの見直しを強く要望する。配達・集金業務の関係上、10分間くらいの猶予がほしい。また、路上パーキング等の駐車料金が上昇しているのので、料金の引き下げも検討してほしい。」[帆布製品製造業]
- 3月 「組合制度改正による決算手続きでは組合事務局に時間がなすすぎる。改正案を作成する側は机上での検討だけではなく、現場の状況を把握してほしい。」
[家具卸売業]
- 4月 「中協法の改正で総会・理事会の日程調整が困難となっている。法律通りに開催できる組合があるのか、疑問である。」[織物製外衣・シャツ製造業]
- 5月 「昨今、食育の活動が盛んに行われているが、テーマが広すぎて、的がしぼりにくい。行政には食育の具体的なテーマや指針を示してもらいたい。」
[野菜・果実小売業]
- 6月 「大手住宅メーカー・マンションデベロッパーは材料高騰による価格転嫁に応じようとしない。こうした「下請いじめ」を排除してもらいたい。」
[建設用金属製品製造業]
「倫理道德のかけらもない経営者、食品提供者としての使命感のない、利益追求のみの業者に対して関係官庁はもっと厳しく対処してほしい。」[豆腐小売業]
- 7月 「回収業者が生活できる価格で、しかも国内で資源が循環できるよう、再生資源ユーザー（製造者）の経営努力と行政庁の適切な指導をお願いしたい。」
[再生資源回収業]

(了)